

平成25年度 第1回地域家庭教育推進県北ブロック会議

日時:平成25年6月10日(月)

場所:福島市中町ビル

福島県教育委員会では、家庭における子どもをはぐくむ環境づくりや地域教育力の向上に向け現状と課題を踏まえ、子どもたちの生活習慣の向上に向けて実践的に推進するため、平成23年度より「子どもをはぐくむ地域実践プロジェクト」を推進しています。各教育事務所単位で「地域家庭教育推進ブロック会議」を設置し、家庭教育支援のあり方を協議してまいりました。今年度3年目となります。

県北域内では、これまでの経過を踏まえ、昨年度に引き続き、学校・P T A・地域の子どもに関わっている諸団体が連携して子どもの生活習慣の向上に向けた家庭教育支援を推進してまいります。各委員の皆さま方から、今後の推進についてさまざまな御意見をいただきました。

各小・中学校の生活習慣向上に向けた取組調査結果とプロジェクトの推進について



○ 5月に各小・中学校の生活習慣向上に向けた取組みの調査を実施しました。その結果、内容に違いはあるものの、ほとんどの学校で子どもの実態に応じた生活習慣向上に向けた取組みを実施していることがわかりました。

これらの取組みをさらに効果的に推進していくために、学校・P T A・地域が一体となって取り組むよう働きかけていくことが大切だと考えています。

○ 各小中学校の生活習慣向上に向けた取組状況を踏まえ、今年度の進め方として以下の点に留意してプロジェクトを進めてまいります。

- ・ 各学校・P T A・地域の子どもに関わっている諸団体が連携して取り組むことを働きかけること
- ・ これまで取り組んでいることを見直したり、視点を変えたり、少し工夫を加えたりしてさらに効果を高めるよう働きかけること
- ・ 12月に予定しているセミナーで、それぞれの連携した取組みを持ち寄り、研究協議していくこと

子どもの生活習慣に関わる現状や家庭教育の現状、及び今後の家庭教育の推進について

○ 各委員の方から、それぞれの立場で、子どもの生活習慣に関わる現状や家庭教育の現状、さらには今後の家庭教育の推進のあり方について御意見をいただきました。

- ・ 子どもの健全育成・生活習慣の向上を図っていく上で大切なことは、家庭の役割である。家庭こそが人間形成の基本的な場所である。そのことを再認識しながら連携して取り組むことが大切である。
- ・ 学校・家庭・地域が連携し、問題を解決していくためには、お互いが理解し合い、それぞれのベクトルの向きをみんなが同じ方向に向けることが大切である。
- ・ なかなか成果はすぐに出るものではないが、学校やP T A、地域が連携することの大切さを繰り返し、訴えていくことが大切である。
- ・ 家庭教育に関わる問題は、地域の実態によってさまざまである。その問題解決の取組や努力もそれぞれに違う。大切なことは、そうした問題に対してどう乗り越えようとしたのかということをもみんなで出し合い、共有することで、少しでも参考になることを自分たちが住む地域や学校に取り入れていくことである。

など、連携推進に向けた前向きな意見が多く出されました。

12月のセミナーに向けて

12月には、福島県男女共生センター(二本松市)でP T A関係者、学校教育関係者、子どもに関わっている諸団体の代表、地域住民等が一堂に会して、セミナーを実施します。①全体講演②事例発表③研究協議などを通じて、今後の家庭教育支援のあり方について協議をします。多くの方の参加を期待しています。(日程等の詳細は、後日お知らせします。)